



2024年5月14日

各位

会社名 阪急阪神ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 嶋田 泰夫
(コード番号 9042 東証プライム)
問合せ先 グループ経営企画室 経理部長 信本 秀夫
(TEL. 06-6373-5013)

繰延税金資産及び繰延税金負債の取崩し並びに個別決算における特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）において、下記の通り繰延税金資産及び繰延税金負債の取崩し並びに個別決算における特別利益の計上を行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の取崩しについて

2024年3月30日付で公布された「地方税法等の一部を改正する法律」に基づき、当社の一部の連結子会社において2024年3月期の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率が変更されました。

この変更に伴う繰延税金資産及び繰延税金負債の取崩しにより、連結決算において法人税等調整額（貸方）147億円を計上しました。

2. 個別決算における特別利益の計上について

当社は、2021年3月期より株式会社阪急阪神ホテルズの財政状態の見通しを踏まえ、債務保証損失引当金を計上していました。2024年4月に、株式会社阪急阪神ホテルズの資産保有と経営・運営を分離する組織再編を実施することなどにより^{*}、保証債務の履行に伴う損失の発生可能性が著しく低下したため、債務保証損失引当金戻入額395億円を計上しました。

なお、当該債務保証損失引当金戻入額は、連結決算において消去されるため、連結損益への影響はありません。

^{*} 2023年10月31日付ニュースリリース「株式会社阪急阪神ホテルズがホテルの経営と運営に特化した会社に変わります～ホテル事業の競争力をさらに高めていく体制を構築します～」

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/release/docs/9c7e7e8afaa3df43f1c9e1328f354aec77f15280.pdf>

3. 業績に与える影響

上記の内容につきましては、本日公表の「2024年3月期決算短信[日本基準]（連結）」に反映しています。

以上